

平成26事業年度

一般財団法人宇部市文化創造財団

事業計画書

平成26年2月

平成26事業年度 事業計画書

I 基本方針

宇部市文化創造財団が事業を開始して4か月が経過したところですが、この間財団としての基礎固めを着々と進めてきた。

平成26事業年度は、この地道に蓄えてきた資材を使って、これまで大きな期待と関心を抱いてこられた市民に、目に見える形で財団の存在意義を示していく段階に入ると考えている。

特に、財団が実施する事業の中でも、質の高い魅力的な自主文化事業を本格的に実施していく。そのため、財団設立後すぐに募集し、平成25事業年度途中から知識と経験のある職員を新たに採用したところで、この人材を活かし育成をしながら、市から受託する文化事業とも絡ませ、年間を通して持続的・安定的に事業を実施する。

一方、平成26年4月からは、指定管理者として、宇部市渡辺翁記念会館（以下、「記念会館」という。）及び宇部市文化会館（以下、「文化会館」という。）を管理運営する予定で準備を進めており、受託後は、従来の貸し館業務だけでなく、利用者が文化活動を実施する際に効果的にコーディネートできる機能を十分発揮し、結果として利用者を満足させ、両会館の利用率をアップさせる。

また、事業推進に当たっては、理事を中心にした「(仮称) 企画運営委員会」を発足し、実際に文化活動を実施している人や団体、市民の意見や要望を吸い上げながら行う。

II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施する。

1 文化行事開催事業

市民から「財団ができて本当によかった。」「財団ができて何か変わった。」と先ずは肌で感じていただけるよう、質の高い、楽しい魅力的な文化事業を精力的に実施する。また、市から委託事業として受ける各種文化事業を充実していくほか、市民等が自ら行う文化活動を支援しながら、財団が記念会館と文化会館（以下、「両館」という。）を指定管理する強みを活かし、両館を中心に、年間を通して持続的にイベントが効率よく実施される状況を築く。

(1) ステージ事業

記念会館や文化会館文化ホールを中心に、著名なアーティスト、オーケストラ、合唱団などによるコンサートほか音楽イベントや、落語などの古典芸能、その他科学ステージなど、子どもから若者、お年寄りまで楽しめるステージイベントを実施する。

例えば、6月には、「ウイーン少年合唱団」の招聘のほか、全国の大都市を中心に開催されている「音楽の祭日」の実施については、ほぼ決定している。

具体的な自主文化事業は、別表1のとおり計画している。

また、市からの受託事業について、別表2のとおり実施する。

その他、市民や文化活動団体が実施する行事については、事前に相談を受け付け、活動に対するコーディネートや情報提供などを行うことで、より良い内容になるよう支援し、活動する側も鑑賞・参加する側も満足のものにする。

(2) 展示事業

展示事業についても、(仮称)企画運営委員会等で各種事業を企画しながら、宇部文化連盟をはじめとした宇部市内外で活動する文化団体や活動者の協力・連携を得て、幅広いジャンルで魅力的な行事を積極的に実施する。

具体的な自主文化事業は、別表1のとおり計画している。

また、市からの受託事業について、別表3のとおり実施する。

なお、26年11月29日から27年1月12日まで、宇部市出身の庵野秀明氏が制作総監督を務め、テレビアニメの放映後幅広い世代から人気のある「エヴァンゲリオン」の作品展を、山口朝日放送、朝日新聞社と共催で実施することは決定している。

2 文化活動支援及び人材育成事業

財団が文化活動者に対し有用なコーディネート機能を発揮できる体制を早急に整え、文化活動者や市民が求める要望等に応じて、適切な援助、支援、情報提供を行っていく。また、新しい文化創造の立役者となる子ども達やその指導者に積極的に働きかけていくことで、将来を担う人材の育成を図るとともに、それをバックアップする財団職員の能力向上を進める。

(1) 活動支援事業

両館の利用者に対しアートマネジメントできる職員を配置することで、満足のある活動が行えるよう支援体制を整備する。また、山口きらめき財団ほか、各種財団等支援組織による資金補助や人材育成等に係る支援情報を提供する。

その他、財団独自に予算の範囲内で記念会館開催イベントに対して助成を行うとともに、要件を備えた行事について共催・後援することで後方支援を行う。

なお、市の「アートパフォーマーバンク」をもっと有効活用していく。

(2) 人材育成事業

①文化活動者等市民に対して

市からの受託事業をはじめ、財団として、今後こちらから学校や地域に出かけて行って文化活動に触れる機会を創出し、人材の裾野を広げていくアウトリーチ活動に力を入れていく。

また、自主文化事業の中でも、イベントの中で著名な出演者と子ども達をはじめとした市民が共演することで、文化活動への興味を深めたり技能の向上を図る機会を創出していく。

その他、市内で活躍する文化活動団体の協力を得て、市民が気軽に参加し文化活動に触れることができる行事を実施し、文化活動者の裾野を広げる。

【具体的な事例】

(ア) 市からの受託事業

●こども文化わくわく体験学校

華道、詩吟、舞踊など伝統文化のほか、多彩なジャンルの体験教室を開催

●箏ワークショップ

市内で実施される各種イベントを活用し、市民を対象に琴の教室を開催

●子ども文化夢教室

レベルの高い指導者を招聘しワークショップ型教室を開催

(イ) 財団自主事業

●ウイーン少年合唱団

公演の一部で、地元合唱団との合同演奏の機会を創出

●音楽の祭日

会場の制限がなく無料で誰もが、プロ・アマを問わない演奏家の音楽を楽しめる日を設定し、その中で著名な演奏家が地元の中・高校生と共演する場を創出

②財団職員に対して

加入する全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会が無料で実施する専門的な研修を最大限活用しながら職員の能力アップを図る。同時に、外部講師を利用しての接遇・マナー等基礎研修や危機管理研修等も定期的を実施して、職員の育成・教育を進める。一方、財団内においても職員による施設管理や防犯・防災対策、関係法令等に関する内部研修会など実施し研鑽を図っていく。

また、引き続き文化庁が実施する講師派遣型支援事業を利用し専門家に来ていただき、自主文化事業の企画手法や文化施設運営、資金調達方法等について助言を受けながら、財団運営能力の向上を図る。

【具体的な事例】

●全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会

●全国劇場・音楽堂等技術職員研修会

- 劇場・音楽堂等人材養成講座
- 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援（派遣型）事業

3 意識啓発及び情報発信事業

市民生活やまちづくりにおける文化の重要性や、財団設立の目的や事業内容、運営方法などを、市民に正確に理解・認識してもらう方策を進めていく。また、友の会や財団市民サポーターへの加入を通して文化への関心を高めていく。

一方、財団独自のホームページや友の会機関誌、マスコミや関係機関を活用して効果的な情報発信を続ける。

(1) 意識啓発事業

心豊かな生活を享受するためや、まちづくりの要素として文化の役割が非常に重要であることを、もっとPRしていくとともに、「財団ができて何が変わるのか」や「市民にどんなメリットがあるのか」など、市民の疑問等に対して積極的な説明を機会を通じて実施し、市民からの理解を得た上で協力を求めていく。

また、自主文化事業を本格化していくのに合わせ、友の会の会員や財団市民サポーターの増強を図ることを通じて、一層財団の役割や目的、事業内容などの啓発を進め、財団への応援者を増やしていく。

なお、財団市民サポーターについては、個人だけでなく、学校のサークル、企業内グループ、地域団体など集合体としての参加を呼びかけ拡充を図る。

【友の会会員・財団市民サポーターの現状（1月末現在）と目標】

(ア) 友の会会員数

種 類	現在の会員数	26 事業年度の目標会員数
個人会員	59人	150人
グループ会員	1団体	10団体
法人会員	6団体	10団体

(イ) 財団市民サポーター数

現在のサポーター数	26 事業年度の目標サポーター数
13人	30人

(2) 情報発信事業

財団独自で作成しているホームページの内容を拡充し、市民が抱いている疑問や財団への要望等に応えるべく、財団情報を積極的に発信する。特に、本格的に実施していく自主文化事業の内容等についても、リアルタイムで分かり易

く詳細に情報を提供していく。

また、友の会に加入された会員に年4回送付する機関誌においても、財団の活動状況やイベント情報など、会員に役立ち興味を抱かせる内容を継続的に掲載し、会員にならなければ入手できない情報も盛り込み、結果として会員増強にもつなげていく。

その他、他財団の機関誌等、新聞やテレビ等のマスコミ、加入或いは連携する文化関連組織等を活用して、効率の良い情報発信を進める。

4 調査研究及び資料収集事業

財源を補うための資金調達法、効率よく自主文化事業を実施するためのチケット販売法などを研究していくとともに、円滑な財団運営や市民への適切な情報提供を行っていくための情報収集を精力的に行う。

(1) 調査研究事業

現状では、財団が独自に実施する自主文化事業を多岐に渡って行うだけの財源は不足しているため、有用な資金調達方法を多面から調査し、少しでも質の高い魅力的な事業が実施できるよう研究していく。

また、会員や市民に便利で分かり易いチケット販売方法や、友の会会員の増強策、効果的なホームページの構築などについて調査研究する。

(2) 資料収集事業

文化庁をはじめとした国の機関、全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会、山口きらめき財団、各種財団などが実施する補助事業や研修事業などの情報を平素から幅広く収集し、財団運営の補完や市民及び文化活動者への支援や情報提供につなげられる体制を築く。

また、県内外の他財団をはじめ、全国の文化関係の組織とも連絡・連携を密にし、有用な情報を漏らさずに収集することで、他都市との連携イベントの開催や有用なプロモーター等の発掘につなげていく。

5 施設管理運営事業

26年4月から、渡辺翁記念会館及び文化会館の指定管理者として施設管理運営を行う。管理に当たっては、次の事項について重点的に取り組む。

- ① 単なる貸し館業務を請け負うのではなく、両館を利用する市民や文化活動者に対し活動へのコーディネートを行い、より良い結果が得られるよう支援するとともに、利用者の能力向上やリピーターの増加につなげていく。
- ② 両館の利用率をアップさせる。特に、年間40%を切る記念会館については、5年間の管理期間の最終目標として、60%の利用率達成を目指す。

【参考】

年 度	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
目標利用率	4 0 %	4 5 %	5 0 %	5 5 %	6 0 %

- ③ 市民が平等・公平に利用できる体制を整備し、利用率向上のためにもソフト・ハード両面に渡ってサービスの拡充を図る。
- ④ 省エネやリサイクルなど環境にも配慮しながら、経費の節減に取り組む。
- ⑤ 個人情報保護をはじめ、防犯・防災対策など危機管理対応の徹底を図る。

6 その他事業

「UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）事業」については、引き続き市の担当部署と連携・協力を行いながら、事業委託に向けて準備を進める。

また、市が新たな事業として始める「(仮称) まちなか市民ギャラリー」の運営を受託し、安価で労力をかけずに、日頃の文化活動内容を発表したり、実験的に活動したり、交流するなどの場所を提供することで、市民や文化活動者を応援するとともに、誰もが気軽に文化に触れる機会を創出し、ひいては文化によるまちづくりに寄与していく。

(別表1) 自主文化事業一覧

事業名	開催日予定	内 容
ウイーン少年合唱団	6月3日	岡山市民文化会館と共同誘致した音楽イベント。
音楽の祭日	6月22日	フランス発祥の無料音楽イベントで、東京・大阪でも拡大中。マルタの応援公演を予定。
バイオリンとソプラノの調べ	7月 交渉中	吉田恭子&小林沙羅のコンビによるリサイタル。小林は人気急上昇のソプラノ歌手。
渡辺翁生誕150周年記念講演会	7月 交渉中	商工会議所共催予定の文化講演会。著名人2名、学識経験者2名で3日間。
海援隊コンサート	10月5日 交渉中	武田鉄矢率いる「海援隊」のトーク&ライブショー。
中村絃子ピアノリサイタル	11月15日 交渉中	円熟したピアニスト中村絃子のトーク&ライブショー。
エヴァンゲリオン展	11月29日 ～1月12日	宇部市出身の庵野秀明監督が、制作指揮監督を務める「エヴァンゲリオン」の作品展を、山口朝日放送、朝日新聞社との共催で実施。
バイオリンの名器が集う	12月7日 交渉中	名器ストラティバリウス&ガウディが創り出すハーモニーの世界。
ズーラシアン・オーケストラ	1月 交渉中	東京交響楽団で構成する「ぬいぐるみキャラクター」での子供向けコンサート。
ざこば・南光新春落語	1月 交渉中	関西落語界の人気者2人による初笑い落語会。
米村でんじろうサイエンスショー	2月 交渉中	マジックではない科学で創り出す不思議とおどろきの世界が体験できる教育エンターテインメント。
小曾根真ピアノコンサート	3月 交渉中	ジャズピアニストとしてデビュー後、クラシックにも分野を広げ、一段と評価が高まった小曾根真のリサイタル。

(別表2) 市受託事業におけるステージ事業一覧

事業名	開催日	内 容
箏曲コンクール	8月上旬	全国の小・中学生を対象にコンクールを開催し、伝統文化である箏曲の普及・振興をるとともに、地域文化活動の促進や子ども達の豊かな人間性と情操の育成を図る。
V I V A ! クラシック	9月～10月	期間中開催されるクラシック音楽イベントの相乗効果を図り、市民にクラシックを身近に感じ楽しんでもらう。
第九「歓喜の歌」	12月末	1年の締めくくりに、山口県ゆかりの指揮者やソリストによるステージのほか、その方達と地元オーケストラ、市民から一般公募で結成された合唱団と一緒に「第九」を大合唱する。
宇部市「芸術祭」	9月～12月	市民音楽祭、吟剣詩舞道、邦楽演奏、演劇、日本民謡・奇術、文連フェスティバルなどを各種文化団体が実施。

(別表3) 市受託事業における展示事業一覧

事業名	開催日	内 容
宇部市「芸術祭」	9月～12月	写真、手工芸、絵画・彫刻、詩、陶芸、短歌、華道、木彫篆額、俳画、俳句、書道、古典園芸、ばら、ラン、盆栽などの展示会を各種文化団体が実施。